



第3回テーマ

「ハザードマップはどのように見るべきか」

東日本大震災では、津波ハザードマップのおかげでいち早く避難できた人々がいる一方で、危険と示されていない地域で避難が遅れたことがありました。ハザードマップには功罪両面があるのでしょうか。

この講座では、洪水や土砂災害、地震、津波などの各種ハザードマップがどのように作られるのか、どんな見せ方がされているかを、事例を交えて紹介いたします。この講座は、日本測量協会が会員・非会員を問わず、誰もが参加可能な公開講座です。

◆日 時 平成 25 年 2 月 13 日 (水)

16 時より

講義 16:00～17:00 質疑応答 17:00～17:30

◆講 師 下村博之 氏 (株) パスコ コンサルタント事業部 防災技術部)

◆会 場 日本測量協会研修室

◆参加費 無料

◆CPD ポイント 測量 CPD を 1 ポイント発行

◆募集人員 30 名 (定員になり次第締切らせていただきます)

◆申込方法 申込はメールまたは FAX で事前登録が必要です

※氏名・所属(会社)・連絡先(電話・FAX)・メールアドレス・CPD 登録番号
(登録済みの方)を明記の上お送りください。

★申込先 E-mail : [open-1c^{レクチャー}@jsurvey.jp](mailto:open-1c@jsurvey.jp) FAX:03-5684-3366

Tel:03-5684-3360

(担当:甘楽 実)